

これからは 一人で生きる

おひとり様で生きる道

最近では一人で暮らす人たちを特別視することも随分薄らいできましたが、ひと昔前は、女性が二十歳を過ぎて一人でいると、結婚をしないのかと、当たり前のように聞かれることがしばしばでした。

女性が一人で暮らすことがあまり特別視されなくなつたと言つても、また、結婚適齢期ということばが使われなくなつてきたと言いつながら、「結婚はまだなの?」という目は決して少なくないのが現状ではないでしょうか。結婚すると今度は子どもはまだか?などと、無遠慮に聞いてくる周囲の人達、本当に余計なお世話なのですが、まるで早く産みなさいと言わんばかりで、うんざりした経験を持つ

たこともあるのではないのでしょうか。だれかと生きるか、一人でいきるか。そのどちらもその人の考えや責任において判断し、自由を選択することです。

人が独りひとなのは、生まれる瞬間と死ぬその瞬間だけで、その後は、家族や友人など誰かとかかわらなければ生きていけません。

子どもは成長し、進学、就職などにより家族から独立して一人暮らしを選択する人がいます。その先、パートナーと出会う機会があつて、結婚する人もいます。家庭を持ち子どもを育てていく人や、結婚という形を取らずに、お互いが自立した個人として、子どもを育てていく人もいます。また、パートナーを持たずに一人で生きる道を選択する人にとつて、いつの時代にも経済的に自立しているこ

とは大きな鍵となります。

自分の意志で選択する一人もありますが、そうでない一人もあります。夫婦二人で暮らしていた人もどちらかが先立つことで一人になる時が来ます。最近では日本に限らず、離婚する夫婦も増加の一途をたどっていますので、死による配偶者の損失だけではありません。どのように選択するにしても、最期は一人で迎えます。

一人は独り? ひと

生きる過程において、人は様々な機会に遭遇します。自分の意志を持てるようになった頃から、はたして私たちは自己の考えや責任において判断し、行動してきたのでしょうか。一人で生きるといふことは、歴史の中でまだまだ日が浅く、社会制度もひ弱です。それでも、できることはあるはずで

では、それは何なのか…。

一人で生きていても、誰かと支えあえる関係を持つているかどうか。まさに今回のフォーラムのサブタイトル「支えあえるネットワーク」。はたして、あなたの身近にネットワークがあるでしょうか。支えあえるネットワークは、安心して生きていくために大切に